

# 日本海側拠点港の形成に向けた計画書



## 公表用資料



対象機能 : 国際フェリー・国際RORO船  
応募港湾 : 国際拠点港湾 伏木富山港  
港湾管理者 : 富山県



# I 伏木富山港の概要



○伏木富山港は、日本海側の中心に位置

○背後に日本海側屈指の臨海工業地帯し、工業港として発展

○伏木富山港は、伏木地区・新湊地区・富山地区の3地区で構成



○定期貨客船「新東春号」  
(2010年8月～、現在運休中)



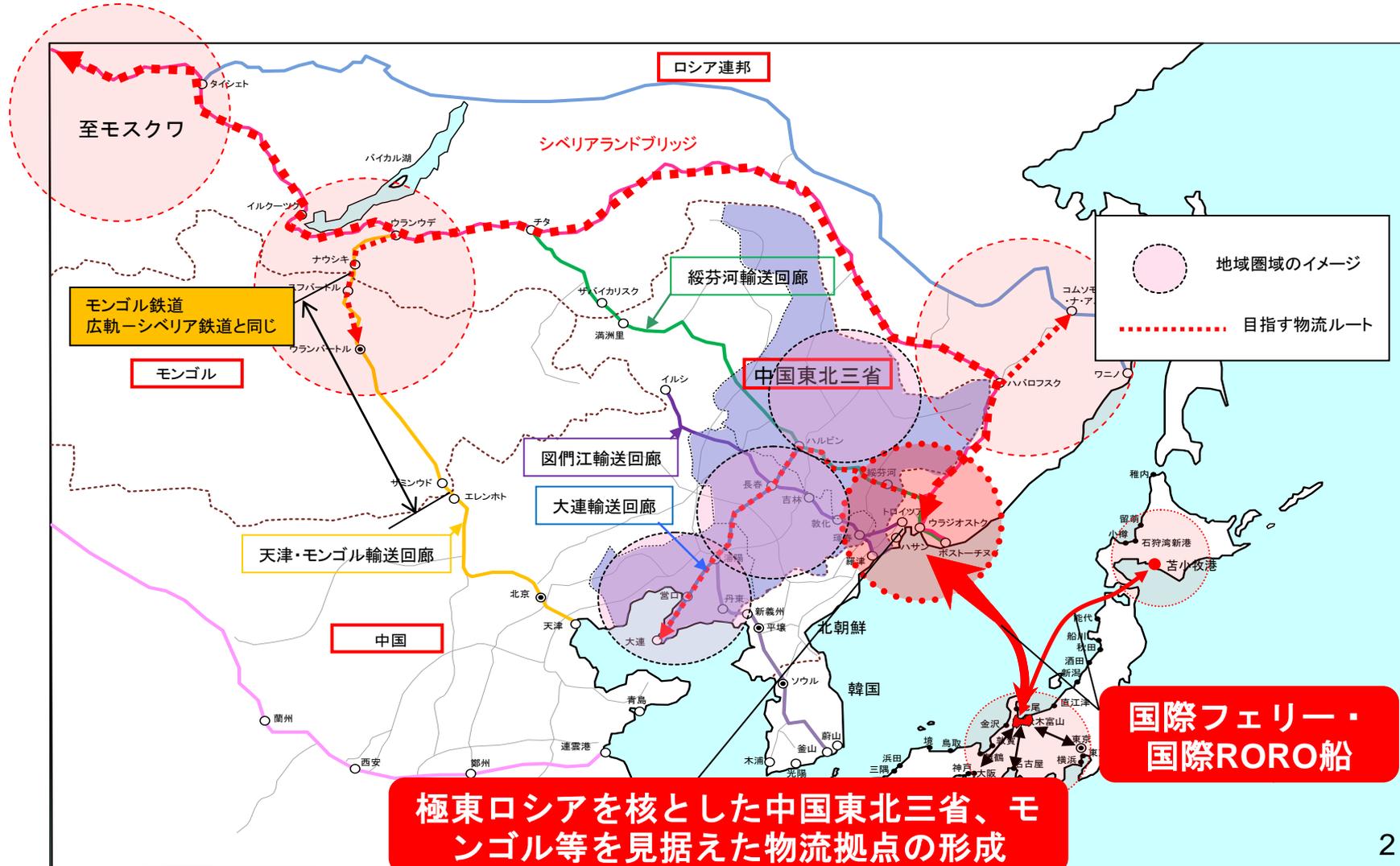
○富山地区のRORO船

# II-1 目的

- (1) 極東ロシア等を見据えた物流拠点形成による国際競争力の強化
- (2) 地理的優位性を活かした物流の効率化による経済発展に貢献
- (3) 災害時における太平洋側港湾の代替機能
- (4) CO<sub>2</sub>排出削減による地球にやさしい物流の確立

## (1) 極東ロシア等を見据えた物流拠点形成による国際競争力の強化

国際フェリー・国際RORO船による極東ロシアを核とした中国東北三省、モンゴル等を見据えた物流拠点を形成し、我が国の国際競争力の強化を図る。



## (2) 地理的優位性を活かした物流の効率化による経済発展に貢献

三大都市圏とほぼ等距離にある地理的特性を活かして、日本海側の拠点として他港と連携して物流の効率化を図り、富山県はもとより近隣地域、三大都市圏の経済発展に貢献する。

### ● 過去30年間（1981～2010）の震災回数

震度3以上 21回  
震度4以上 4回 } **全国最少**  
(気象庁資料より算出)

### ● 今後30年以内の地震発生確率

富山県の震度6弱以上の地震の発生確率は非常に少ない  
(0.1%～6.0%)

三大都市圏から  
3～4時間台

地震や台風などの自然災害を受けにくい港

		道路	鉄道
関東圏	ルート	練馬IC(関越)～上信越～小杉IC(北陸)	東京貨物～高岡貨物
	距離	400km	520km
	時間	4時間50分	5時間30分
中京圏	ルート	一宮IC(名神道)～東海北陸道～高岡北IC(能越道)	名古屋貨物～高岡貨物
	距離	220km	310km
	時間	3時間	3時間20分
近畿圏	ルート	豊中IC(名神道)～小杉IC(北陸道)	梅田貨物～高岡貨物
	距離	350km	330km
	時間	4時間15分	3時間30分

「MapFan」及び「2009JR 貨物時刻表」より距離、時間を試算。  
(一般道 30km/h、鉄道 95km/h)

## (3) 災害時における太平洋側港湾の代替機能

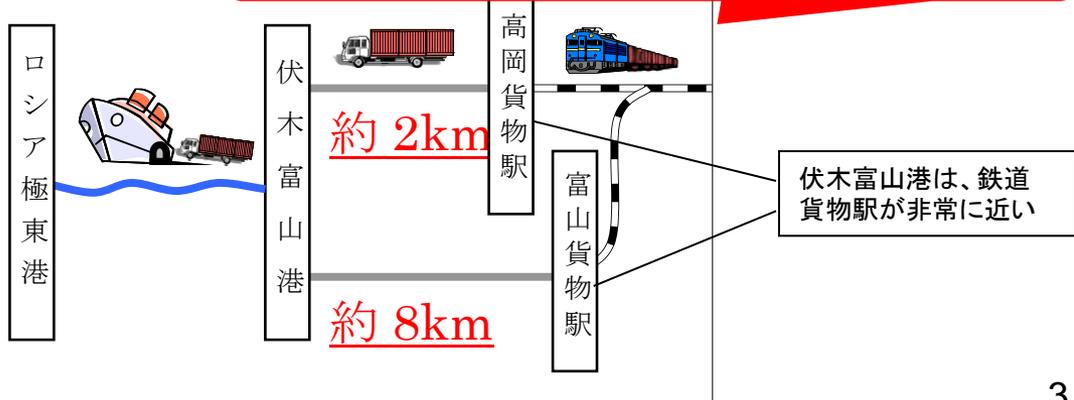
災害に強く、複数の高速道路など道路ネットワークが充実している特性を活かし、さらなる災害対策を強化し太平洋側港湾の代替機能を果たす。

## (4) CO<sub>2</sub>排出削減による地球にやさしい物流の確立

複合一貫輸送を推進し、さらには、シベリア鉄道との物流ルートを形成することにより、CO<sub>2</sub>排出を削減する地球環境にやさしい物流を確立する。



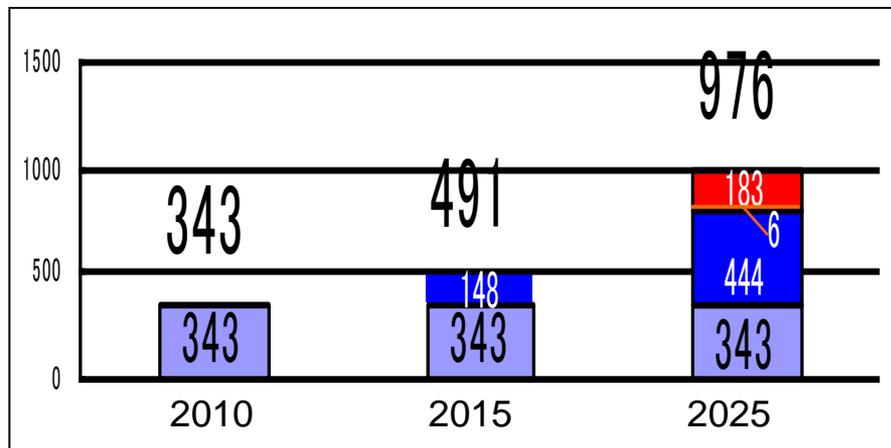
日ロ複合一貫輸送を構築できる環境



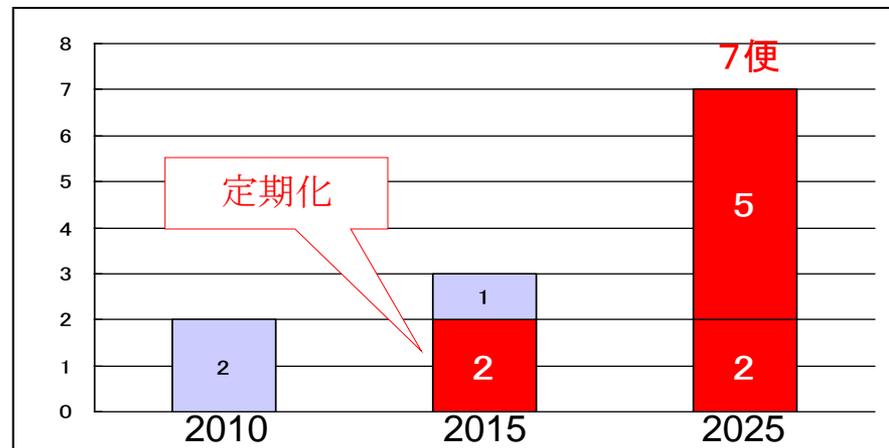
# II-2 目 標

現状（2010年）	2015年の目標	2025年の目標
<p>○国際フェリー： 運休中  <small>（国際フェリーは、1993年から継続的に運航（現在は運休中））</small></p> <p>○国際RORO船： 週2便  <small>（曜日が定まっていない過去に週5.5便の実績有り）</small></p>	<p><u>（1）目指すべき姿</u>                      既存の港湾機能や物流ネットワークの強化による<b>効率的かつ安定した物流サービスの実現</b></p>	<p><u>（1）目指すべき姿</u>                      対岸諸国内陸部の新物流ルートの形成や国内物流ネットワークの充実による北東アジアへの<b>新たな物流サービスの実現</b></p>
	<p><u>（2）定量的目標値</u>                      国際RORO船でのロシアとの<b>週2便の定期運航</b></p>	<p><u>（2）定量的目標値</u>                      国際フェリー及び国際RORO船での<b>週7便の定期運航</b></p>
	<p>○蔵置場所の不足や通関手続きなどの課題の解消による定期運航化</p>	<p>○貨物の増加による7便体制</p>

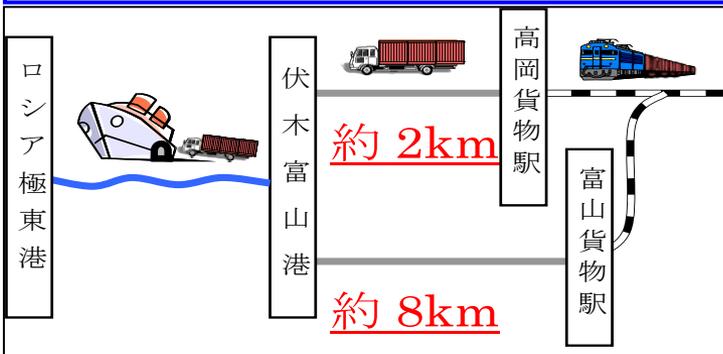
【輸出貨物量（千ト）】



【便数（便）】



既存鉄道貨物駅を活用したシーアンドレール



ヤードの整備により荷役効率の向上  
他港や企業との間に協力体制を構築

○2015年の目指すべき姿

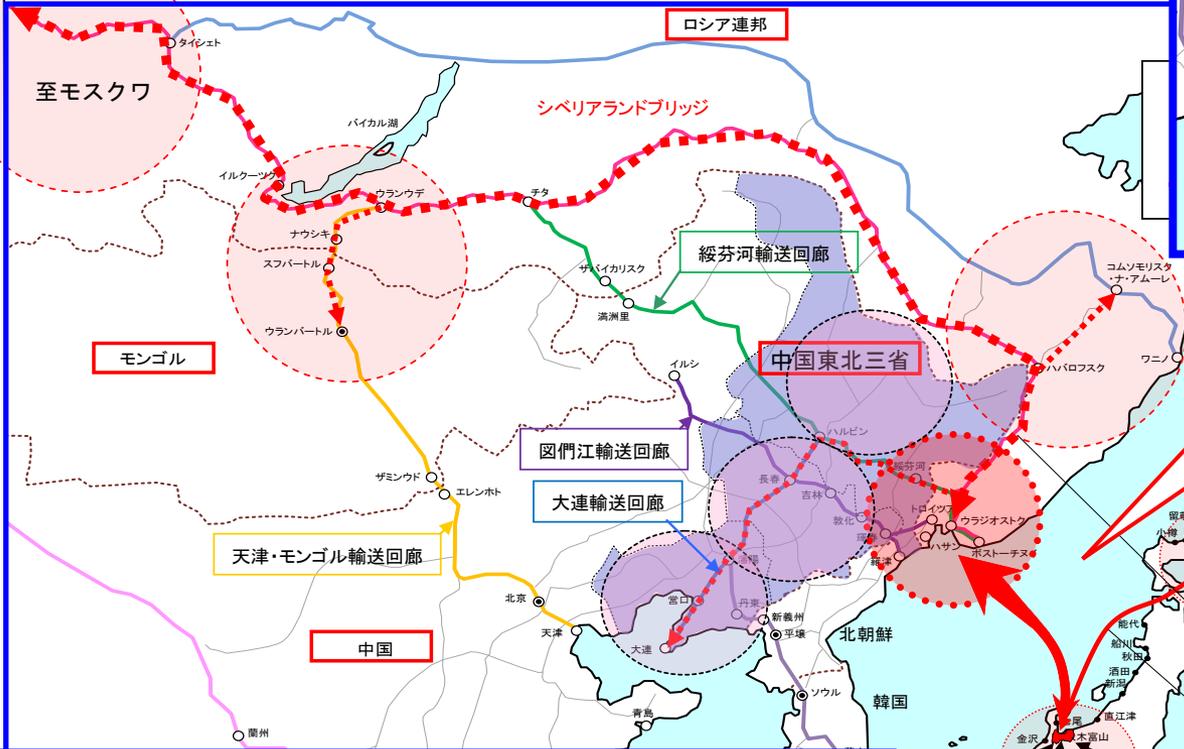
既存の港湾機能や物流ネットワークの強化による効率的かつ安定した物流サービスの実現



国際RORO船  
週7便の定期運航  
貨物量976千トン  
(2010年343千トン)

新物流ルートの形成

国内RORO船の定期運航化や  
シーアンドレールの輸送体系の確立による  
国内物流ネットワークの充実



○2025年の目指すべき姿

対岸諸国内陸部の新物流ルートの形成や国内物流ネットワークの充実による北東アジアへの新たな物流サービスの実現

# 1 対岸諸国を見据えた物流の効率化

## 【ロシア】

- ・ロシアのWTO加盟が現実的
- ・ロシア極東においてはAPEC開催に向けて大型プロジェクトが目白押し
- ・国際RORO船の基幹貨物である**完成自動車（中古車）**が回復傾向
- ・定時性の確保や輸送時の揺れが少ないRORO船による輸送に適した**自動車部品などの機械類や水産品の輸出**が増加傾向

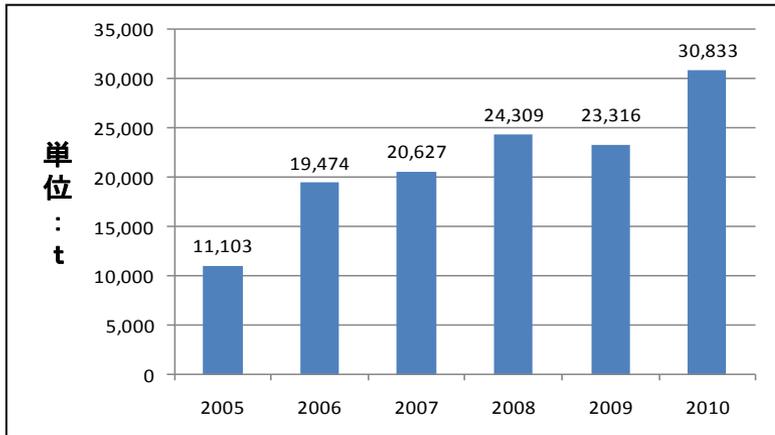
<輸出> 伸びている貨物			<輸入> 伸びている貨物		
貿易額の伸び率が大きい品目5億円以上(2010-2006)			貿易額伸び率が大きい品目5億円以上(2010-2006)		
品目	伸び率		品目	伸び率	
1位	36.34	織物用繊維及びくず	1位	22.65	穀物及び同調整品
2位	5.23	家具	2位	10.35	生ゴム
3位	4.93	紙類及び同製品	3位	5.3	石油及び同製品
4位	3.21	魚介類及び同調製品	4位	1.45	パルプ及び古紙
5位	3.13	鉄鋼	5位	1.39	石炭・コークス及び練炭

貿易額の増加額が大きい品目(2010対前年比)			貿易額の増加額が大きい品目(2010対前年比)		
品目	増加額(億円)		品目	増加額(億円)	
1位	3,003	輸送用機器	1位	3,464	石油及び同製品
2位	346	一般機械	2位	1,426	天然ガス及び製造ガス
3位	236	鉄鋼	3位	586	非鉄金属
4位	150	電気機器	4位	174	石炭・コークス及び練炭
5位	63	ゴム製品	5位	136	鉄鋼

※赤枠は、RORO船の利用がみこまれる貨物

○日本とロシアの貿易額が伸びている貨物【財務省貿易統計より作成】



○日本からロシアへの自動車部品の輸送量の推移【財務省貿易統計より作成】

## ○対岸諸国の動向と伏木富山港の利用

1992年  
伏木富山港とウラジオストク商業港との友好提携締結



シュペルト ハバロフスク地方知事との会談 (H22.5月2日)



ウラジオストク商業港視察 (H22.5月4日)



ゴルチャコフ沿海地方議会議長との会談 (H22.5月5日)

## ○ロシアとの交流のひろがり

極東において日本の自動車産業が進出。「トヨタ」や「いすゞ」などは、2012年を目途に生産開始予定。

- ①ワニノ・タイシエツト輸送回廊
- ②SLB輸送回廊
- ③桜芬河輸送回廊
- ④図們江輸送回廊
- ⑤大連輸送回廊
- ⑥天津・モンゴル輸送回廊
- ⑦CLB輸送回廊
- ⑧朝鮮半島西部輸送回廊
- ⑨朝鮮半島東部輸送回廊

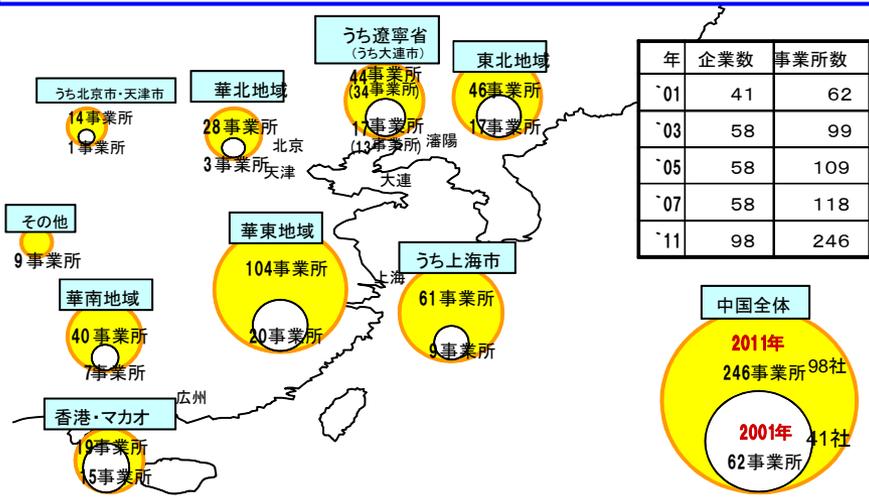


○活発化する北東アジアの物流ルート

**【中国】**

- ・2010年にGDPが世界第2位になるなど、近年著しい経済発展
- ・東北三省は人口が1億人を超えるマーケット
- ・ロシア極東港湾を利用した貿易ルートの開発の動き
- ・定時性が確保され輸送時の揺れが少ない国際RORO船貨物に適した農産食品や自動車部品等が潜在貨物としてある。

◆ 事業所数は10年前と比べ中国全土で4.0倍（遼寧省2.6倍、上海市6.8倍、華南地域5.7倍）



**<輸出> 伸びている品目**

貿易額伸び率が大きい品目5億円以上(2010-2006)		
品目	伸び率	
1位	火薬類	12.94
2位	飲料	3.52
3位	鉱物性タール及び粗製薬品	2.89
4位	輸送用機器	2.14
5位	医薬品	2.01

貿易額の増加額が大きい品目(2010対前年比)		
品目	増加額(億円)	
1位	一般機械	11,230
2位	電気機器	5,065
3位	輸送用機器	3,929
4位	精密機器類	1,703
5位	プラスチック	1,367

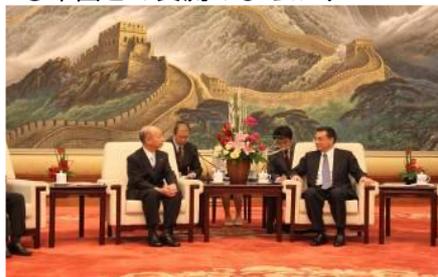
**<輸入> 伸びている品目**

貿易額伸び率が大きい品目5億円以上(2010-2006)		
品目	伸び率	
1位	飼料	1.92
2位	動物性油脂	1.89
3位	原皮及び毛皮(未仕上)	1.58
4位	医薬品	1.53
5位	プラスチック	1.49

貿易額の増加額が大きい品目(2010対前年比)		
品目	増加額(億円)	
1位	電気機器	9,626
2位	一般機械	4,264
3位	元素及び化合物	1,674
4位	輸送用機器	351
5位	精密機器類	351

※赤枠は、RORO船の利用がみこまれる貨物【財務省貿易統計より作成】

**○中国との交流のひろがり**



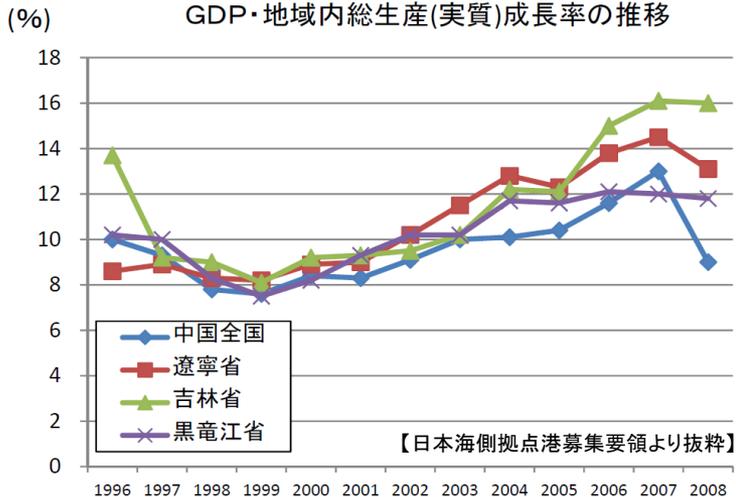
中華人民共和国  
李克強 國務院副総裁  
表敬(2009年5月)



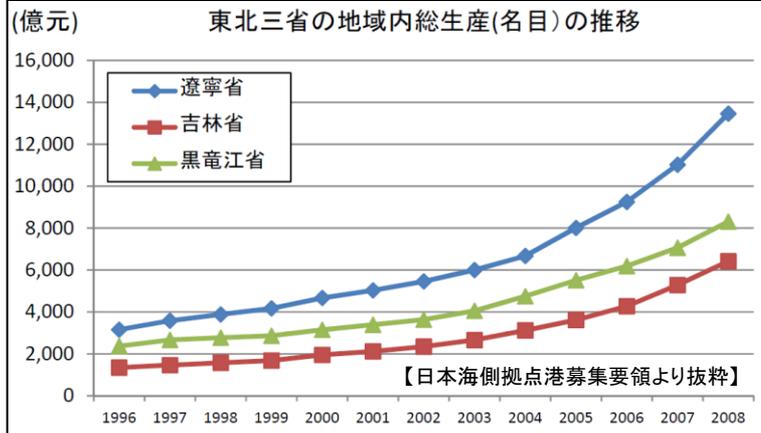
陳政高遼寧省長と友好県省  
25周年協定書署名式(2009年5月)

**中国全国と東北三省の**

**GDP・地域内総生産(実質)成長率の推移**



**東北三省の地域内総生産(名目)の推移**



**【モンゴル】**

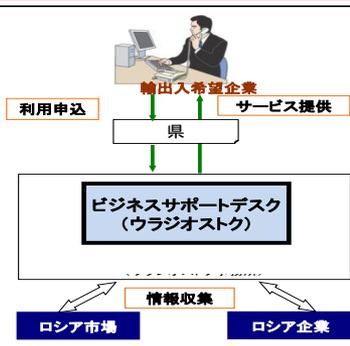
- ・炭田やレアアースなどの開発により、鉱物資源大国として経済発展
- ・完成自動車(中古車)が増加傾向

# 計 画

## ○ポートセールス等の強化による販路拡大

### ○ビジネスサポートデスクによる支援（2010年5月4日開設）

- 1 目的 : 県内企業等のロシア極東における事業展開、販路開拓の支援
  - 2 対象地域 : ウラジオストク市を含むロシア極東地域
  - 3 対象者 : 富山県内に事業所を有する企業及び経済団体等  
(伏木富山港の利用が見込まれる県外企業を含む)
  - 4 業務内容 : ①商談先企業紹介(28件) ②輸出入手続きの紹介等(112件)  
③現地訪問時対応(14件) ④観光情報の提供(2件)
  - 5 設置場所 : ウラジオストク港客船ターミナルビル
  - 6 実績 : サポートデスクが関与し成約に結びついた案件  
成約案件18件、成約金額 約4,200万円(80円/ドル換算)
- 主な成約案件  
 プレジャーボートの輸出(約480万円)、中古重機の輸出(約240万円)  
 中古バイクの輸出(約720万円)、防腐剤のロシアへの輸出(約960万円)



### ○中京圏等への企業誘致活動に合わせたPR



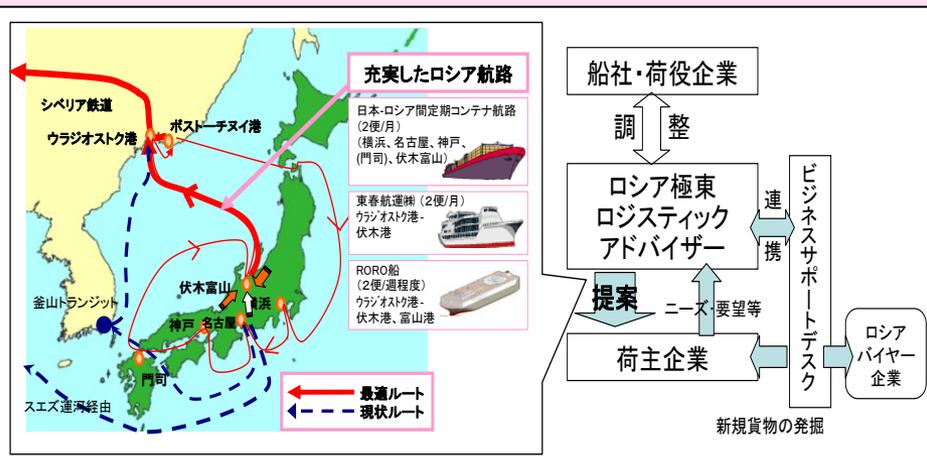
岐阜県での企業セミナー

- 官民挙げたポートセールス訪問
- 関係団体等へのポートセールス
- 大連事務所による支援

## ○新規貨物の掘り起こし

- トライアル輸送による新物流ルートの有効性・信頼性の確保
- ビジネスサポートデスクによる支援
- 荷主企業奨励金や船社奨励金による支援
- 富山県ものづくり総合見本市によるマッチング機会の創出
- ロシア極東・中国東北地方のバイヤーの招へいによるマッチング
- 環日本海経済交流センターの支援

### ○ロジスティックアドバイザーの配置



## ○新物流ルートを用いた物流の効率化

### ○官民連携による「環日本海物流ゴールデンルート形成研究会(仮称)」の設置

ロシア・欧米・環日本海 物流・観光懇話会での提言(座長; 谷内 正太郎 外務省顧問)を踏まえ、大連港、ウラジオストク港、ザルビノ港との船足の短いシャトル便航路を開拓



- トライアル輸送による新物流ルートの形成
- 官民連携したロシア政府への通関手続きの簡素化に向けた働きかけ
- シベリア鉄道利用業者団体からの情報収集

## 2 地域産業に根付いた集荷促進

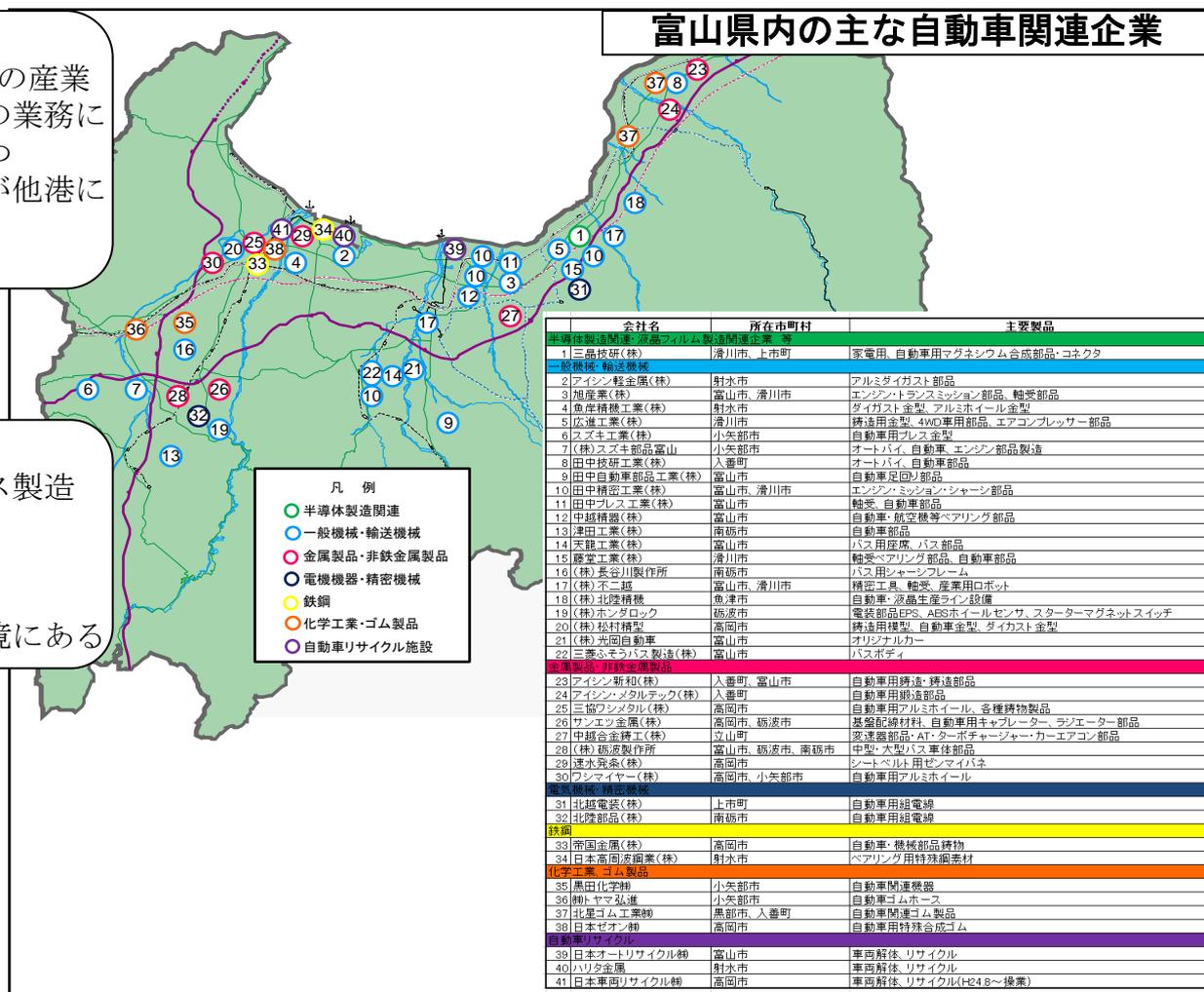
## ○地域産業の動向と伏木富山港の利用

### 【完成自動車（中古車）】

- ・中古車輸出は、貿易額300億円を超える規模の産業
- ・県内に中古車仕入れから船積みまでの一連の業務に携わる事業者が多く介在し、地域産業の一つ
- ・過去には蔵置場所が不足し、溢れた中古車が他港にシフト
- ・ヤード拡張が望まれている

### 【自動車関係】

- ・中型小型バスの国内シェア40%を占めるバス製造会社が立地
- ・その他自動車車関連企業が多く立地
- ・自動車リサイクル施設が立地
- ・自動車部品を効率的に輸出できる可能な環境にある



### 富山県内の主な自動車関連企業

番号	会社名	所在市町村	主要製品
<b>半導体製造関連・液晶フィルム製造関連企業等</b>			
1	三島技研(株)	滑川市 上市町	家電用、自動車用マグネシウム合金部品・コネクタ
<b>総機械・輸送機械</b>			
2	アイシン精金属(株)	射水市	アルミダイカスト部品
3	旭産業(株)	富山市 滑川市	エンジン・トランスミッション部品、軸受部品
4	魚津精機工業(株)	射水市	タイカスト金型、アルミホイール金型
5	広進工業(株)	滑川市	排気用金型、4WD車用部品、エアコンプレッサー部品
6	スズキ工業(株)	小矢部市	自動車用プレス金型
7	(株)スズキ部品富山	小矢部市	オートバイ、自動車、エンジン部品製造
8	田中技研工業(株)	入善町	オートバイ、自動車部品
9	田中自動車部品工業(株)	富山市	自動車足回り部品
10	田中精密工業(株)	富山市 滑川市	エンジン・ミッション・シャフト部品
11	田中プレス工業(株)	富山市	軸受、自動車部品
12	中部精機(株)	富山市	自動車、航空機等ベアリング部品
13	津田工業(株)	南砺市	自動車部品
14	天龍工業(株)	富山市	バス用座席、バス部品
15	隆堂工業(株)	滑川市	軸受ベアリング部品、自動車部品
16	(株)長谷川製作所	南砺市	バス用シャーシフレーム
17	(株)不二越	富山市 滑川市	精密工具、軸受、産業用ロボット
18	(株)北陸精機	砺波市	自動車・液晶生産ライン設備
19	(株)ホンダロック	砺波市	電装部品EPS、ABSホイールセンサ、スターターマグネットスイッチ
20	(株)松村精造	高岡市	排気用機器、自動車金型、タイカスト金型
21	(株)水回自動車	富山市	アルミアルカー
22	三菱ふそうバス製造(株)	富山市	バスボディ
<b>金属製品・非鉄金属製品</b>			
23	アイシン新和(株)	入善町 富山市	自動車用排気・排気部品
24	アイシン・メタルテック(株)	入善町	自動車用排気部品
25	三協フジメタル(株)	高岡市	自動車用アルミホイール、各種機物部品
26	フジエツ金属(株)	高岡市 砺波市	基礎配線材料、自動車用キャブレター、ラジエーター部品
27	中越合金精工(株)	立山町	駆逐器部品・AT・ターボチャージャー・カーエアコン部品
28	(株)砺波製作所	富山市 砺波市 南砺市	中型・大型バス車体部品
29	澤水発条(株)	高岡市	シートベルト用ゼンマイ付本
30	フジマイヤ(株)	高岡市 小矢部市	自動車用アルミホイール
<b>電気機械・精密機械</b>			
31	北越電装(株)	上市町	自動車用組電線
32	北陸部品(株)	南砺市	自動車用組電線
<b>鉄鋼</b>			
33	帝國金属(株)	高岡市	自動車・機械部品機物
34	日本高岡鋼業(株)	射水市	ベアリング用特殊鋼素材
<b>化学工業・樹脂</b>			
35	黒田化学社	小矢部市	自動車関連機器
36	㈱)ヤマ弘進	小矢部市	自動車ゴムホース
37	北星ゴム工業㈱	黒部市 入善町	自動車関連ゴム製品
38	日本ゼオン㈱	高岡市	自動車用特殊合成ゴム
<b>自動車リサイクル</b>			
39	日本オートリサイクル㈱	富山市	車両解体・リサイクル
40	ハノタ金属	射水市	車両解体・リサイクル
41	日本車両リサイクル㈱	高岡市	車両解体・リサイクル(h248〜検査)

## 計 画

### ○港湾施設の機能強化

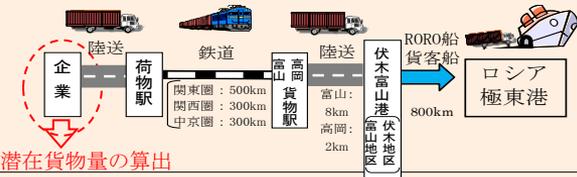
- 港湾施設の再配置（官民共同による自主規制の見直し）
- ヤード（野積場）の拡張
- 静穏度の確保

### ○成長産業に対するポートセールスや企業立地促進による創荷

- 伏木富山港の利用促進に向けたポートセールスの実施
- 船社に対するポートセールス
- 荷主企業奨励金や船社奨励金による支援
- 「富山県企業立地促進計画」に基づく企業誘致活動
- 誘致企業の調査（有力誘致企業の抽出）
- インセンティブ制度を活用した民間企業の物流業務施設の誘致

## ○物流ネットワークの多様化

- シーアンドレールによる集荷
- 既設鉄道貨物駅周辺の整備
- 鉄道延伸のための体制構築・基盤整備
- 国内RORO船の定期運航化  
(実証実験を今年度実施)



## ○災害時における緊急物資輸送の支援

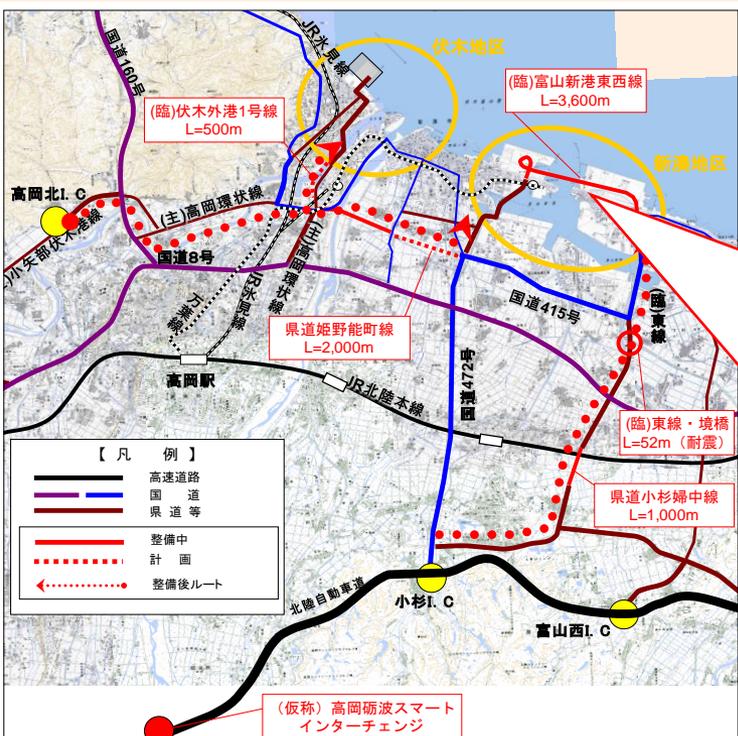
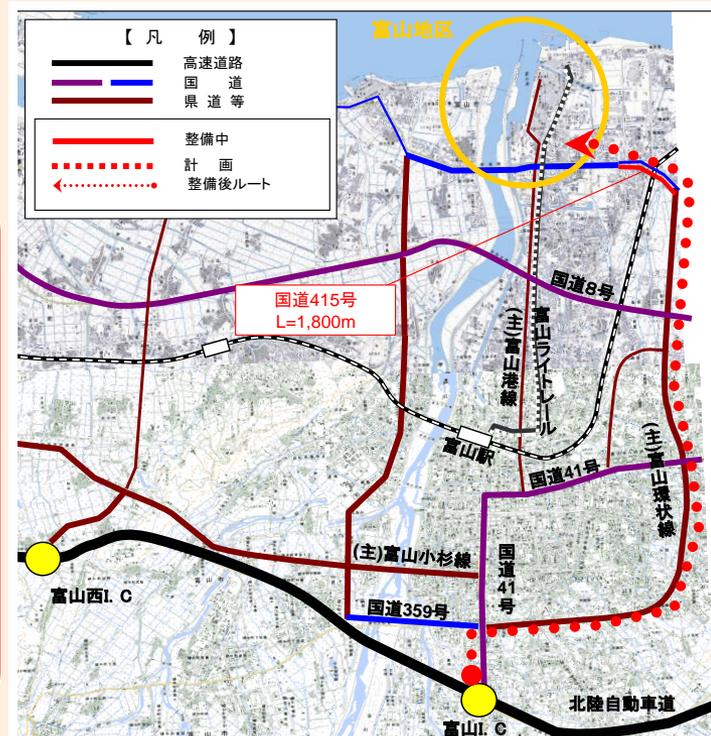
- 他港との災害時協力体制の構築
  - ・苫小牧港、小樽港、秋田港、船川港、能代港、名古屋港との協力
- 救援物資輸送等に対する減免
- 災害時の情報提供

## ○主要ICからのアクセス道路の整備

- 高速道路インターチェンジからのアクセス確保
- 幹線道路とのアクセス確保

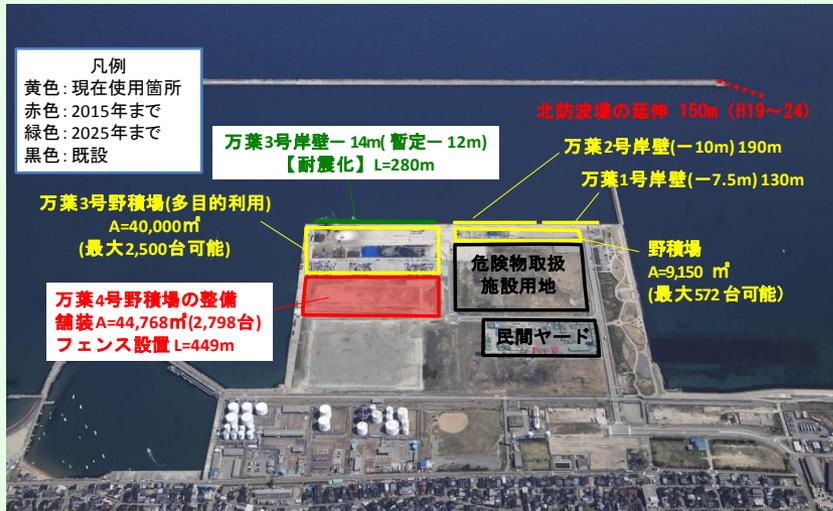
(臨)富山新港東西線(新湊大橋)の完成により物流効率がアップ

- ・輸送時間の短縮(約10分)
- ・地域間の交流により町の活性化
- ・新名所となる日本海側最大級の斜張橋



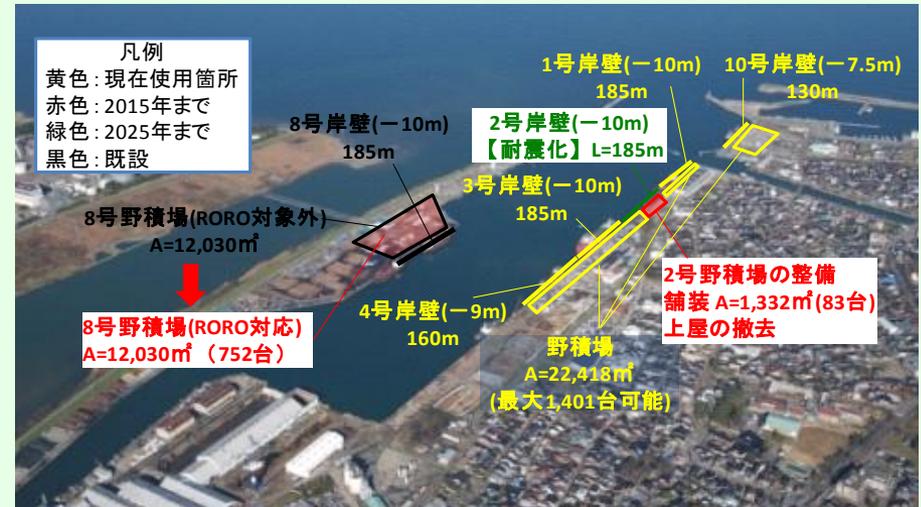
(仮称)高岡橋波スマートインターチェンジ

## ORORO基地の機能強化



○伏木地区

- 伏木万葉3号岸壁及び富山2号岸壁の耐震強化
- ヤード（野積場）の拡張

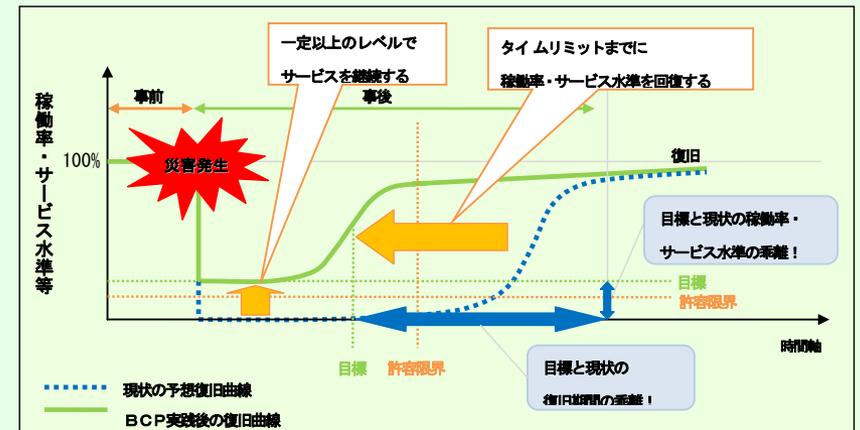


○富山地区

## ○官民連携による災害時の協力体制の構築



○専用岸壁の災害時使用に関する協力体制の構築【新湊地区】



○BCP計画の策定

○災害時の活動を支える電力の安定供給体制の構築

# Ⅲ 計画の実現のための方策

## 1 他の対象港湾との連携

### (1) 苫小牧港との連携

- ・国際RORO船と国内RORO船の連携
- ・災害時のRORO船の受け入れ体制の強化

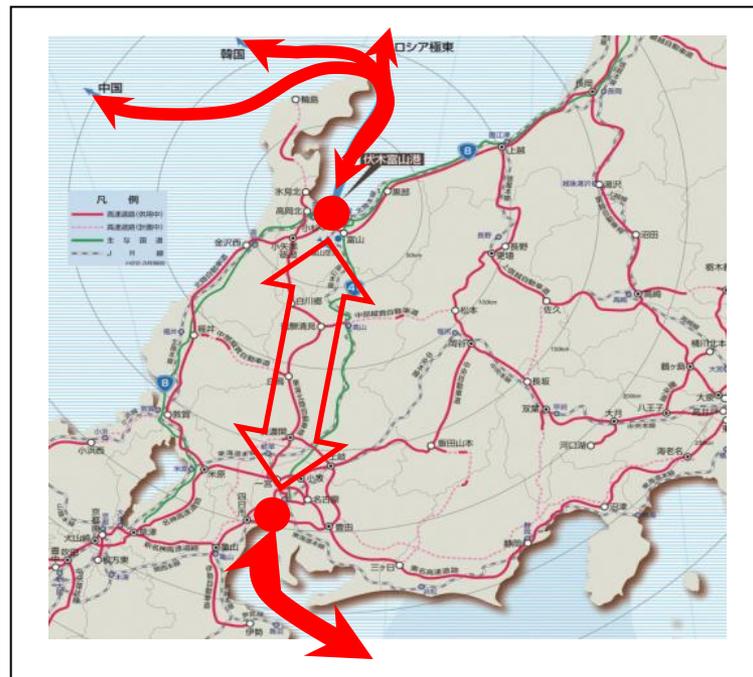


### (2) 小樽港、秋田港、船川港、能代港との連携

- ・災害時における相互利用などの協力体制の構築

### (3) 名古屋港との連携

- ・災害時における協力体制の構築



## 2 既存施設の有効活用

### (1) 港湾機能の再配置

(RORO基地の構築)

- ・ヤードの拡張(再編整備)
- ・既存岸壁の耐震補強

### (2) 民間専用バスの災害時利用

- ・救援物資や資材等の一時集積場
- ・救援物資や被災者救護活用に従事するフェリーやRORO船などの接岸場所

### (3) 既設鉄道の活用

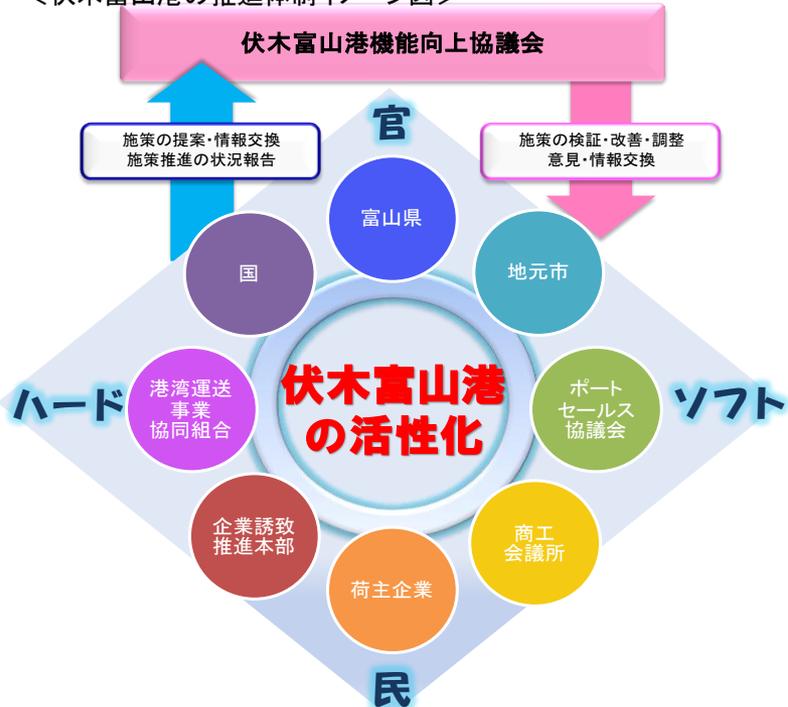
- ・既設貨物駅を活用したシーアンドレール
- ・氷見線の貨物鉄道の運行再開
- ・万葉ふ頭までの鉄道延伸

### 3 計画実現のための推進体制や行動計画

#### ○官民協働による施策の推進体制

- ・物流事業者、荷主、行政等からなる「伏木富山港機能向上協議会」が中心となり施策を推進

＜伏木富山港の推進体制イメージ図＞



＜伏木富山港機能向上協議会の構成＞

・経済団体	県商工会議所連合会長（富山商工会議所会頭）、高岡商工会議所会頭、射水商工会議所会頭
・県内主要企業	YKK(株)副社長、三協立山アルミ(株)代表取締役社長、㈱不二越代表取締役社長、北陸電力(株)代表取締役社長、㈱北陸銀行代表取締役頭取
・荷役業者	富山新港荷役施設管理運営組合理事長
・行政	富山市長、高岡市長、射水市長
・学識経験者	(財)富山県新世紀産業機構 環日本海経済交流センター長

(以上13名)

伏木富山港機能向上協議会・幹事会

#### ○行動計画

- ・行政、民間企業等のそれぞれの役割に応じた方策を推進
- ・連携を図りながら官民協働で方策を着実に遂行
- ・周辺環境の変化などに早急に対応し、計画の確実な実現

### 4 段階計画による計画の確実な推進

各年度の目指すべき姿の実現のため、下表のとおり各種方策を段階的に推進していく。

■ : 新規施策

■ : 継続施策

計 画 の 内 容	年次計画		
	2015年まで	2025年まで	2025年以降
対岸諸国を見据えた物流の効率化	ア ポートセールス等の強化による販路拡大		
	イ 新規貨物の掘り起こし		
	ウ 新物流ルートを用いた物流の効率化		
地域産業に根付いた集荷促進	ア 港湾施設の機能強化		
	イ 成長産業の企業立地促進による創荷		
災害に強いネットワークの構築	ア 物流ネットワークの多様化		
	イ 主要ICからのアクセス道路の整備		
	ウ 災害時の緊急貨物輸送への支援		
防災機能の確保	ア RORO基地の構築		
	イ 官民協働による災害時体制の構築		